

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.11.27-2010.12.3 29 号

2010 年 12 月 2 日付け「大楚ネット」より

高動力分散方式の列車が武漢広州鉄道にて供用開始

明朝、CRH380A 高速動力分散方式の列車が武漢広州高速鉄道にて供用開始され、武漢 広州南線 G1045 で運行される予定である。

武漢鉄道局の紹介によると、CRH380A 新世代列車は現在世界で最も速く、科学技術の実用性が最も高い国産の高速動力分散方式の列車である。持続速度は時速 350 キロ、運行中の最高速度は時速 380 キロと武漢 広州間で元々運行している高速鉄道より 30 キロも速い。今年 10 月、上海 杭州間の試運転の際には、416.6 キロという世界最高の時速を達成した。

合計 8 台の新世代高速動車組が武漢 広州線にて供用される予定である。各列車には VIP 席(定員 12 名)、一等席(定員 6 名)などが設置され、列車の定員数は 494 人、運賃は武漢 広州高速鉄道やほかの高速動力分散方式の列車と同じである。現在、同タイプの高速動力分散方式の列車が上海 杭州線で運行されている。



新世代高速動力分散方式の列車

武漢フェリー20年ぶりに新船導入、2週間後に旅客輸送開始

まるでクルーズ船のような新型フェリーはわずか10分で長江を渡ることができる。明日、武漢初の新型長江フェリー4隻が正式に納品され、調印式が行われる。これは武漢フェリーにおいて、ここ20年間で初めての新船導入となる。

早ければ2週間後にも、市民は武漢埠頭からこの豪華フェリーに乗船することができる。乗船料は以前と変更がない。乗客1人につき1.5元、武漢通ICカードを利用すると1.3元となる。また電動スクーターの場合は1台につき2元、ICカードを利用すると1.6元である。乗客1人とバイク1台の場合、ICカードを使えば、割引価格は2.9元、自転車の場合、ICカード価格は1元から0.8元まで下がるため、乗客1人と自転車1台の場合、合わせて2.1元である。

武漢市フェリー会社によると、新しいフェリーは400席のものと800席のものが各2隻ずつである。全てエアコン付きの密封式型、席は旧型より3割増え、船室ドアの幅も4メートルと広く、電動スクーターでの乗り降がさらに便利となり、またトイレも完備されている。

武漢船舶会社によれば、800席のフェリーは一回につき電動スクーター60台乗船可能で、長江を渡るスピードは、旧型に比べ約4分短縮される。



新型フェリーの様子